

A photograph of a large agave plant in a brick planter. The plant has thick, pointed leaves and a central flower stalk. The planter is made of red bricks. The background is a red brick wall. The text 'A.' is overlaid in white, sans-serif font.

A.

a.

A photograph of a knife and a candle. The knife is lying on a light-colored surface. The candle is in a dark holder. The text 'DANTO' is overlaid in white, sans-serif font.

DANTO

ALTERNATIVE ARTEFACTS

ARCHAEOLOGY OF TILES Presented by Alternative Artefacts Danto

Alternative Artefacts Danto(オルタナティブ・アーティファクツ・ダントー)
淡路島でタイルを製造する近代タイルの老舗メーカー ダントーによる新ブランド
2024年ミラノでのデビューを前に1日限りのインスタレーションを実施
Creative Direction: TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO
会場: Mariencò 開催日: 2023年4月20日(木) 12:00 – 19:00

2024年春、タイルのもつ可能性を提案する、新しいタイルブランド
「Alternative Artefacts Danto」が誕生します。

「Alternative Artefacts Danto」を立ち上げるダントーは硬質陶器タイルを本格的に生産した
工業製品用タイルメーカーとしては国内最初の株式会社のひとつであり、
130年以上の歴史を持つ淡路島のメーカーです。
起源を19世紀初頭に淡路島で開窯した珉平焼に遡り、やきもの用の土の開発、釉薬の研究を重ねる
ことで、タイルにおける新しい可能性を長年にわたり探ってきました。

「Alternative Artefacts Danto」では、Teruhiro Yanagihara Studioのクリエイティブ・ディレクショ
ンのもと、工業製品の均一性だけでなく、職人の手から生まれるタイルの情緒的で”ゆらぐ”側面を提
案します。2024年春のローンチに先駆けてその一部を今年、ミラノデザインウィークの期間中にご紹介
いたします。

会場となる Mariencò の緑に囲まれた工場跡地を舞台に、これまでにダントーが重ねてきた物語を
内包するインスタレーションをお楽しみください。
タイルを通じて過去と未来、日本と世界をつなぎます。

DANTO

ALTERNATIVE ARTEFACTS

EXHIBITION INFORMATION

ARCHAEOLOGY OF TILES

Date: 2023年4月20日(木) 12:00 – 19:00

Place: Mariencò / Via Ampola, 18, 20139 Milan

Presented by Alternative Artefacts Danto
(ダントーホールディングス株式会社)

Creative Direction: TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO

Food Installation: 餅匠しづく 石田 嘉宏

Music supervision: Mido (MENACE/SENSE)

Website: aa-danto.com (4月上旬公開予定)

Instagram: @a.a.danto

(<https://www.instagram.com/a.a.danto/>)

RSVP ご参加にあたって

お手数ですが、下記メールまでご参加の旨ご連絡ください。

event@how-pr.co.jp HOW INC.

展示について

ダントーのルーツである19世紀初頭に生産された珉平焼、時代によって変化するタイル、その他様々な形状の焼き物、また現在のダントーの特徴である原材料「土」の展示を通し、現在まで紡がれたタイルの歴史をお楽しみください。さらに、当日は、大阪の和菓子職人「餅匠しづく」によるライブパフォーマンスも行われます。粘土を練って加工するタイル製造工程と、日本の技術である和菓子づくりの工程が似ていることから着想を得ています。今年は新しいデザインの発表はありませんが、その場でしか味わえない、皆様の記憶に残る1日限りのプレゼンテーションを展開します。

PROJECT CONCEPT

2024年春に誕生する「Alternative Artefacts Danto」は、デザインによってタイルの新たな可能性を探るタイルブランド。約130年にわたって淡路島でタイルを製造する近代タイルの老舗メーカー、ダントーによる最新のプロジェクトです。TERUHIRO YANAGIHARA STUDIOによるクリエイティブ・ディレクションのもと、従来のタイルの形、用途に捕らわれることなく、マテリアルとしてのタイルの可能性を探っていきます。

プロジェクトでは毎年、世界で活躍する建築家やデザイナー、アーティストをコラボレーターとして日本に招き、新たな視点からタイルづくりに取り組んでいきます。コラボレーターは江戸時代の珉平焼に始まるダントーの歴史を遡る中、タイル職人たちの手業や、陶土の開発から取り組むことで生まれる独特のタイルの色調、特殊な造形にも対応できる量産体制などに触れた上で、自由なアプローチでタイルと向き合うことになります。

最初のコラボレーションパートナーにはフランスを拠点にする建築家・デザイナーのIndia Mahdavi (インディア・マダヴィ)を迎えます。色彩の魔術師、また独特な造形言語を持つ彼女とのコラボレーションから生まれるプロダクトは、2024年春のミラノデザインウィーク中、ブランドのお披露目の場で発表いたします。

タイルのもつ可能性について、クリエイティブ・ディレクターの柳原照弘は次のように話します。

「タイルで空間の雰囲気を一変させることもできます。ダントーのタイルは土を焼成してできるため、陶器のような手触りでぬくもりを感じます。このプロジェクトを通して内装材としてのタイルの可能性を広げていきたいのです」

また、「Alternative Artefacts Danto」はタイルの開発だけではなく、淡路島の土地にも新たな風を吹き込んでいきます。ダントー創立の場として今でも残る工場内に、クリエイターの滞在施設やホテル、ショップ、レストランなどからなるクリエイティブ・ハブを計画しています。

DANTO

ALTERNATIVE ARTEFACTS

ダントーホールディングス株式会社

淡 (だん)—淡路島の淡
陶 (とう)—陶器

日本で最初に硬質陶器タイルを量産化したダントーは、常に革新的、実験的、オープンマインド、手仕事、そしてタイムレスであることを理念に据え、事業を展開。

ダントーの歴史は、130年以上前の江戸末期、瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な淡路島で始まる。職人技の革新性に加えて、タイルの主原料である土の配合に対するたゆまぬ研究、時代を反映したデザイン、そして精緻なものづくりがダントーの歴史を積み上げてきた。

TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO (TYS)

2002年、デザイナーの柳原照弘によって創設され、日本、フランス、英国、オランダなど、多拠点から参画するスタッフとともにレストランやショップの空間デザインから、家具、テーブルウェアなどのプロダクトデザイン、テキスタイルデザイン、さらに香りのデザインまで、国内外で多岐に及ぶプロジェクトを手がけるデザインスタジオ。

プロジェクトのクライアントとなる企業やブランドの価値の本質を見極め、その世界観を包括的に伝える上で、空間や商品だけではなく、コミュニケーションツールなどのアートディレクションを含めたブランディング構築を手がけることもある。そのために、プロジェクトが生まれる土地の歴史や風土を入念にリサーチし、とりわけて伝統的な素材や技法に目を向け、伝統が時代に置き去りにされることのないよう、現代の暮らしの中に伝承していくデザインに意を注ぐ。

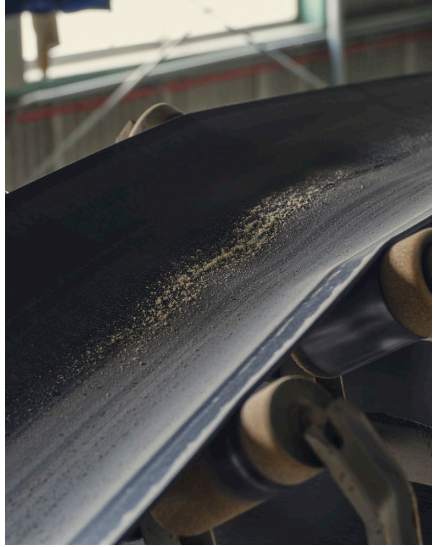
こうしたデザイン活動を行うとともに、ものづくりの思考やプロセスを表現し、また共感するアーティストやデザイナーのクリエイションを発信する起点として、神戸と南仏の古都アルルにフランス語で波を意味する「VAGUE」という拠点を設ける。

これまで、Kvadrat、Skagerak、Offecct、1616 / arita japan、Karimoku New Standard、Mame Kurogouchi、木村硝子など、国内外のクライアントのものづくりに関わる。

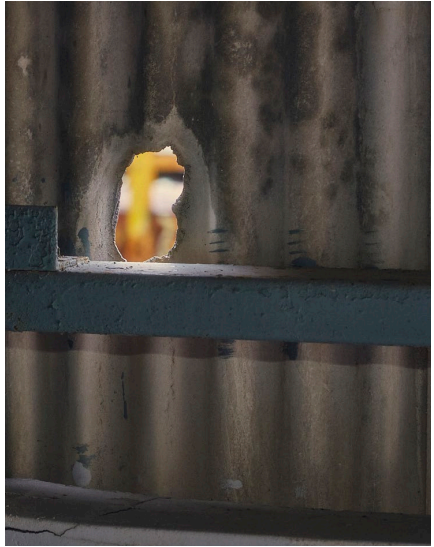
プレスお問合せ先: HOW INC.
pressrelease@how-pr.co.jp

お客様お問合せ先 : Alternative Artefacts Danto
contact@aa-danto.com

ALTERNATIVE ARTEFACTS



aa-danto.com



All Photos by Ichiro Mishima